

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年11月15日 (2012.11.15)

【公開番号】特開2012-86094(P2012-86094A)

【公開日】平成24年5月10日 (2012.5.10)

【年通号数】公開・登録公報2012-018

【出願番号】特願2012-26802(P2012-26802)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月28日 (2012.9.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各々が識別可能な複数種類の図柄を変動表示可能な複数の可変表示領域のそれぞれに表示結果を導出させることが可能な可変表示装置を備え、

遊技用価値を用いて 1 ゲームに対して所定数の賭数を設定することによりゲームが開始可能となるとともに、前記複数の可変表示領域の全てに前記表示結果が導出されることにより 1 ゲームが終了し、1 ゲームの結果として前記複数の可変表示領域のそれぞれに導出された前記表示結果の組み合わせに応じて入賞が発生可能とされたスロットマシンであって、

少なくともいずれかの可変表示領域に表示結果が導出される前に、遊技者にとって有利な特別遊技状態への移行を伴う特別入賞及び前記遊技用価値の付与を伴う第 1、2 の特定付与入賞を含む複数種類の入賞について発生を許容するか否かを決定する事前決定手段と、

前記事前決定手段により前記特別入賞の発生を許容する旨が決定され、該特別入賞が発生しなかったときに、当該特別入賞の発生を許容する旨の決定を次ゲーム以降に持ち越す持越手段と、

前記複数の可変表示領域の表示結果を導出させる際に操作されるそれぞれの導出操作手段と、

前記導出操作手段が操作されたときに、前記事前決定手段の決定結果に基づいて該導出操作手段に対応する可変表示領域に表示結果を導出させる制御を行う導出制御手段と、

を備え、

前記事前決定手段は、

前記第 1 の特定付与入賞の発生を許容する旨及び前記第 2 の特定付与入賞の発生を許容する旨について前記特別入賞の発生を許容する旨と同時に決定することが可能であり、かつ前記第 1 の特定付与入賞の発生を許容する旨を前記特別入賞の発生を許容する旨と同時に決定する割合よりも高い割合で前記第 2 の特定付与入賞の発生を許容する旨を前記特別入賞の発生を許容する旨と同時に決定し、

前記第 1 の特定付与入賞の発生を許容する旨を決定する割合よりも低い割合で前記第 2 の特定付与入賞の発生を許容する旨を決定し、

前記導出制御手段は、

前記第 1 の特定付与入賞の発生を許容する旨、または前記第 1 の特定付与入賞及び前記特別入賞の発生を許容する旨が決定されており、周期的に定められた複数の操作タイミングのうち第 1 の操作タイミングで特定の可変表示領域に対応する導出操作手段が操作されたときに前記第 1 の特定付与入賞を構成する表示結果を該特定の可変表示領域に導出させる制御を行い、前記複数の操作タイミングのうち前記第 1 の操作タイミング以外の操作タイミングで前記特定の可変表示領域に対応する導出操作手段が操作されたときに前記第 1 の特定付与入賞を構成しない表示結果を該特定の可変表示領域に導出させる制御を行うとともに、前記第 1 の操作タイミング以外の操作タイミングのうちの特定の操作タイミングで前記特定の可変表示領域に対応する導出操作手段が操作されたときに第 1 の特定表示結果を該特定の可変表示領域に導出させる制御を行う第 1 の特定付与入賞許容時導出制御手段と、

前記第 2 の特定付与入賞の発生を許容する旨、または前記第 2 の特定付与入賞及び前記特別入賞の発生を許容する旨が決定されており、前記複数の操作タイミングのうち第 2 の操作タイミングで前記特定の可変表示領域に対応する導出操作手段が操作されたときに前記第 2 の特定付与入賞を構成する表示結果を該特定の可変表示領域に導出させる制御を行い、前記複数の操作タイミングのうち前記第 2 の操作タイミング以外の操作タイミングで前記特定の可変表示領域に対応する導出操作手段が操作されたときに前記第 2 の特定付与入賞を構成しない表示結果を該特定の可変表示領域に導出させる制御を行うとともに、前記第 2 の操作タイミング以外の操作タイミングのうちの前記特定の操作タイミングで前記特定の可変表示領域に対応する導出操作手段が操作されたときに前記第 1 の特定表示結果とは異なる第 2 の特定表示結果を該特定の可変表示領域に導出させる制御を行う第 2 の特定付与入賞許容時導出制御手段と、

前記特別入賞の発生を許容する旨が単独で決定されており、前記複数の操作タイミングのうち前記特定の操作タイミングで前記特定の可変表示領域に対応する導出操作手段が操作されたときに前記第 1 の特定表示結果または前記第 2 の特定表示結果を該特定の可変表示領域に導出させる制御を行う特別入賞許容時導出制御手段と、

いずれの入賞の発生も許容しない旨が決定されており、前記複数の操作タイミングのうち前記特定の操作タイミングで前記特定の可変表示領域に対応する導出操作手段が操作されたときに前記第 1 の特定表示結果及び前記第 2 の特定表示結果以外の表示結果を該特定の可変表示領域に導出させる制御を行う非許容時導出制御手段と、

を含み、

前記特定の操作タイミングは、前記第 1 の操作タイミング及び前記第 2 の操作タイミングよりも多くの遊技用価値の付与が期待できる操作タイミングであり、かつ前記複数の操作タイミングのうち最も多くの遊技用価値の付与が期待できる操作タイミングである

ことを特徴とするスロットマシン。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題を解決するために、本発明の請求項 1 に記載のスロットマシンは、

各々が識別可能な複数種類の図柄を変動表示可能な複数の可変表示領域のそれぞれに表示結果を導出させることが可能な可変表示装置を備え、

遊技用価値を用いて 1 ゲームに対して所定数の賭数を設定することによりゲームが開始可能となるとともに、前記複数の可変表示領域の全てに前記表示結果が導出されることにより 1 ゲームが終了し、1 ゲームの結果として前記複数の可変表示領域のそれぞれに導出された前記表示結果の組み合わせに応じて入賞が発生可能とされたスロットマシンであって、

少なくともいずれかの可変表示領域に表示結果が導出される前に、遊技者にとって有利

な特別遊技状態への移行を伴う特別入賞及び前記遊技用価値の付与を伴う第 1、2 の特定付与入賞を含む複数種類の入賞について発生を許容するか否かを決定する事前決定手段と

、
前記事前決定手段により前記特別入賞の発生を許容する旨が決定され、該特別入賞が発生しなかったときに、当該特別入賞の発生を許容する旨の決定を次ゲーム以降に持ち越す持越手段と、

前記複数の可変表示領域の表示結果を導出させる際に操作されるそれぞれの導出操作手段と、

前記導出操作手段が操作されたときに、前記事前決定手段の決定結果に基づいて該導出操作手段に対応する可変表示領域に表示結果を導出させる制御を行う導出制御手段と、

を備え、

前記事前決定手段は、

前記第 1 の特定付与入賞の発生を許容する旨及び前記第 2 の特定付与入賞の発生を許容する旨について前記特別入賞の発生を許容する旨と同時に決定することが可能であり、かつ前記第 1 の特定付与入賞の発生を許容する旨を前記特別入賞の発生を許容する旨と同時に決定する割合よりも高い割合で前記第 2 の特定付与入賞の発生を許容する旨を前記特別入賞の発生を許容する旨と同時に決定し、

前記第 1 の特定付与入賞の発生を許容する旨を決定する割合よりも低い割合で前記第 2 の特定付与入賞の発生を許容する旨を決定し、

前記導出制御手段は、

前記第 1 の特定付与入賞の発生を許容する旨、または前記第 1 の特定付与入賞及び前記特別入賞の発生を許容する旨が決定されており、周期的に定められた複数の操作タイミングのうち第 1 の操作タイミングで特定の可変表示領域に対応する導出操作手段が操作されたときに前記第 1 の特定付与入賞を構成する表示結果を該特定の可変表示領域に導出させる制御を行い、前記複数の操作タイミングのうち前記第 1 の操作タイミング以外の操作タイミングで前記特定の可変表示領域に対応する導出操作手段が操作されたときに前記第 1 の特定付与入賞を構成しない表示結果を該特定の可変表示領域に導出させる制御を行うとともに、前記第 1 の操作タイミング以外の操作タイミングのうちの特定の操作タイミングで前記特定の可変表示領域に対応する導出操作手段が操作されたときに第 1 の特定表示結果を該特定の可変表示領域に導出させる制御を行う第 1 の特定付与入賞許容時導出制御手段と、

前記第 2 の特定付与入賞の発生を許容する旨、または前記第 2 の特定付与入賞及び前記特別入賞の発生を許容する旨が決定されており、前記複数の操作タイミングのうち第 2 の操作タイミングで前記特定の可変表示領域に対応する導出操作手段が操作されたときに前記第 2 の特定付与入賞を構成する表示結果を該特定の可変表示領域に導出させる制御を行い、前記複数の操作タイミングのうち前記第 2 の操作タイミング以外の操作タイミングで前記特定の可変表示領域に対応する導出操作手段が操作されたときに前記第 2 の特定付与入賞を構成しない表示結果を該特定の可変表示領域に導出させる制御を行うとともに、前記第 2 の操作タイミング以外の操作タイミングのうちの前記特定の操作タイミングで前記特定の可変表示領域に対応する導出操作手段が操作されたときに前記第 1 の特定表示結果とは異なる第 2 の特定表示結果を該特定の可変表示領域に導出させる制御を行う第 2 の特定付与入賞許容時導出制御手段と、

前記特別入賞の発生を許容する旨が単独で決定されており、前記複数の操作タイミングのうち前記特定の操作タイミングで前記特定の可変表示領域に対応する導出操作手段が操作されたときに前記第 1 の特定表示結果または前記第 2 の特定表示結果を該特定の可変表示領域に導出させる制御を行う特別入賞許容時導出制御手段と、

いずれの入賞の発生も許容しない旨が決定されており、前記複数の操作タイミングのうち前記特定の操作タイミングで前記特定の可変表示領域に対応する導出操作手段が操作されたときに前記第 1 の特定表示結果及び前記第 2 の特定表示結果以外の表示結果を該特定の可変表示領域に導出させる制御を行う非許容時導出制御手段と、

を含み、

前記特定の操作タイミングは、前記第 1 の操作タイミング及び前記第 2 の操作タイミングよりも多くの遊技用価値の付与が期待できる操作タイミングであり、かつ前記複数の操作タイミングのうち最も多くの遊技用価値の付与が期待できる操作タイミングである

ことを特徴としている。

本発明の手段 1 に記載のスロットマシンは、

各々が識別可能な複数種類の図柄を変動表示可能な複数の可変表示領域（左リール、中リール、右リールの表示領域）のそれぞれに表示結果を導出表示させることが可能な可変表示装置（リール 2 L、2 C、2 R）を備え、

遊技用価値（メダル）を用いて 1 ゲームに対して所定数の賭数を設定することによりゲームが開始可能となるとともに、前記複数の可変表示領域（左リール、中リール、右リールの表示領域）の全てに表示結果が導出表示されたことにより 1 ゲームが終了し、前記複数の可変表示領域（左リール、中リール、右リールの表示領域）に導出表示された表示結果の組み合わせに応じて入賞が発生可能とされたスロットマシン（スロットマシン 1）であって、

少なくともいずれかの可変表示領域に表示結果が導出される前に、遊技者にとって有利な特別遊技状態（ビッグボーナス、レギュラーボーナス）への移行を伴う特別入賞、前記遊技用価値（メダル）の付与を伴う所定付与入賞（実施例 2 のスイカ）及び該所定付与入賞よりも少ない数の遊技用価値（メダル）の付与を伴う第 1、2 の特定付与入賞（実施例 2 の 1 枚（1）、1 枚（2））を含む複数種類の入賞について発生を許容するか否かを決定する事前決定手段と、

前記事前決定手段により前記特別入賞（特別役）の発生を許容する旨が決定され、該特別入賞（特別役）が発生しなかったときに、当該特別入賞の発生を許容する旨の決定（特別役の当選フラグ）を次ゲーム以降に持ち越す持越手段と、

前記複数の可変表示領域（左リール、中リール、右リールの表示領域）の表示結果を導出させる際に操作されるそれぞれの導出操作手段（ストップスイッチ 8 L、8 C、8 R）と、

前記導出操作手段が（ストップスイッチ 8 L、8 C、8 R）操作されたときに、前記事前決定手段の決定結果（当選フラグ）に基づいて該導出操作手段（ストップスイッチ 8 L、8 C、8 R）に対応する可変表示領域（左リール、中リール、右リールの表示領域）に表示結果を導出させる制御を行う導出制御手段と、

を備え、

前記事前決定手段は、前記第 1 の特定付与入賞（1 枚（1））の発生を許容する旨及び前記第 2 の特定付与入賞（1 枚（2））の発生を許容する旨について前記特別入賞（特別役）の発生を許容する旨と同時に決定することが可能であり、かつ前記第 1 の特定付与入賞（1 枚（1））の発生を許容する旨を前記特別入賞（特別役）の発生を許容する旨と同時に決定する割合よりも高い割合で前記第 2 の特定付与入賞（1 枚（2））の発生を許容する旨を前記特別入賞（特別役）の発生を許容する旨と同時に決定し、

前記導出制御手段は、

前記所定付与入賞（スイカ）の発生を許容する旨が決定されており、周期的に定められた複数の操作タイミング（領域番号 1 ~ 21 の停止操作位置）のうち第 1 の操作タイミング（領域番号 11 ~ 17）で特定の可変表示領域（左リール）に対応する導出操作手段（ストップスイッチ 8 L）が操作されたときに前記所定付与入賞を構成する表示結果（「スイカ」が上段、中段、下段のいずれかに停止する表示結果）を該特定の可変表示領域（左リール）に導出させる制御を行うとともに、前記複数の操作タイミング（領域番号 1 ~ 21 の停止操作位置）のうち前記第 1 の操作タイミング以外の操作タイミング（領域番号 1 ~ 10、18 ~ 21）で前記特定の可変表示領域（左リール）に対応する導出操作手段（ストップスイッチ 8 L）が操作されたときに前記所定付与入賞を構成しない表示結果（「スイカ」が上段、中段、下段のいずれにも停止しない表示結果）を該特定の可変表示領域（左リール）に導出させる制御を行う所定付与入賞許容時導出制御手段と、

前記第 1 の特定付与入賞（1 枚（1））の発生を許容する旨、または前記第 1 の特定付与入賞（1 枚（1））及び前記特別入賞（特別役）の発生を許容する旨が決定されており、前記複数の操作タイミング（領域番号 1 ～ 21 の停止操作位置）のうち前記第 1 の操作タイミング（領域番号 11 ～ 17）と重複しない第 2 の操作タイミング（領域番号 4 ～ 10）で前記特定の可変表示領域（左リール）に対応する導出操作手段（ストップスイッチ 8 L）が操作されたときに前記第 1 の特定付与入賞を構成する表示結果（「白 7」が上段、中段、下段のいずれかに停止する表示結果）を該特定の可変表示領域（左リール）に導出させる制御を行い、前記複数の操作タイミング（領域番号 1 ～ 21 の停止操作位置）のうち前記第 2 の操作タイミング以外の操作タイミング（領域番号 1 ～ 3、11 ～ 21）で前記特定の可変表示領域（左リール）に対応する導出操作手段（ストップスイッチ 8 L）が操作されたときに前記第 1 の特定付与入賞を構成しない表示結果（「白 7」が上段、中段、下段のいずれにも停止しない表示結果）を該特定の可変表示領域（左リール）に導出させる制御を行うとともに、前記第 1 の操作タイミング（領域番号 11 ～ 17）のうちの特定の操作タイミング（領域番号 15、16）で前記特定の可変表示領域（左リール）に対応する導出操作手段（ストップスイッチ 8 L）が操作されたときに第 1 の特定表示結果（領域番号 11・12・13）を該特定の可変表示領域（左リール）に導出させる制御を行う第 1 の特定付与入賞許容時導出制御手段と、

前記第 2 の特定付与入賞（1 枚（2））の発生を許容する旨、または前記第 2 の特定付与入賞（1 枚（2））及び前記特別入賞（特別役）の発生を許容する旨が決定されており、前記複数の操作タイミングのうち前記第 1 の操作タイミング（領域番号 11 ～ 17）と重複しない第 3 の操作タイミング（領域番号 1 ～ 3、18 ～ 21）で前記特定の可変表示領域（左リール）に対応する導出操作手段（ストップスイッチ 8 L）が操作されたときに前記第 2 の特定付与入賞を構成する表示結果（「赤 7」が上段、中段、下段のいずれかに停止する表示結果）を該特定の可変表示領域（左リール）に導出させる制御を行い、前記複数の操作タイミング（領域番号 1 ～ 21 の停止操作位置）のうち前記第 3 の操作タイミング以外の操作タイミング（領域番号 4 ～ 19）で前記特定の可変表示領域（左リール）に対応する導出操作手段（ストップスイッチ 8 L）が操作されたときに前記第 2 の特定付与入賞を構成しない表示結果（「赤 7」が上段、中段、下段のいずれにも停止しない表示結果）を該特定の可変表示領域（左リール）に導出させる制御を行うとともに、前記第 1 の操作タイミング（領域番号 11 ～ 17）のうちの前記特定の操作タイミング（領域番号 15、16）で前記特定の可変表示領域（左リール）に対応する導出操作手段（ストップスイッチ 8 L）が操作されたときに前記第 1 の特定表示結果（領域番号 11・12・13）とは異なる第 2 の特定表示結果（領域番号 10・11・12）を該特定の可変表示領域（左リール）に導出させる制御を行う第 2 の特定付与入賞許容時導出制御手段と、

いずれの入賞の発生も許容しない旨の決定がなされているときに、前記特定の可変表示領域（左リール）に対応する導出操作手段（ストップスイッチ 8 L）の操作手順に関わらず前記第 1 及び第 2 の特定表示結果（領域番号 11・12・13 及び領域番号 10・11・12）以外の表示結果を該特定の可変表示領域（左リール）に導出させる制御を行う非許容時導出制御手段と、

を含む、

ことを特徴としている。

この特徴によれば、特別入賞の発生を許容する旨と同時に決定される可能性のある第 1 または第 2 の特定付与入賞の発生を許容する旨の決定がなされ、かつ第 1 または第 2 の特定付与入賞を発生させることができなかつたときに、事前決定手段によりいずれの入賞の発生も許容されていないときには導出されることのない第 1 の特定表示結果または第 2 の特定表示結果を導出させることが可能となるので、これら第 1 または第 2 の特定表示結果が導出されることにより、特別入賞の発生が許容されていることに対する遊技者の期待感を高めることができる。

また、事前決定手段によりいずれの入賞の発生も許容されていないとき、すなわち通常時の大半を占める状態では、第 1 または第 2 の特定表示結果が導出されることがなく、事

前決定手段により第１または第２の特定付与入賞の発生を許容する旨の決定がなされることにより、第１または第２の特定表示結果を導出させることが可能となるので、遊技者の技量などの影響を受けることなく、適度な割合で特定の表示結果を導出させることが可能となる。

また、特定の操作タイミングで特定の可変表示領域に対応する導出操作手段を操作して、該特定の可変表示領域に第２の特定表示結果が導出されたときに、第１の特定表示結果が導出されたときよりも特別入賞の発生が許容されている可能性が高まるため、常に同じ操作タイミングで導出操作手段の操作を行いつつ遊技を行っている場合でも、その際に導出された表示結果によって特別入賞の発生が許容されていることに対する遊技者の期待感に変化を持たせることができる。

また、所定付与入賞を発生させることが可能な操作タイミングと、第１の特定付与入賞を発生させることが可能な操作タイミング及び第２の特定付与入賞を発生させることが可能な操作タイミングと、が重複せず、所定付与入賞と第１の特定付与入賞または第２の特定付与入賞とを同時に狙って導出操作手段の操作を行うことができないいうのに、所定付与入賞が発生した際に、第１、第２の特定付与入賞が発生したときよりも多くの数の遊技用価値が付与されるので、積極的に所定付与入賞を発生させることが可能な操作タイミングでの操作、すなわち第１、第２の特定付与入賞を取りこぼす操作タイミングでの操作を遊技者に対して促すことが可能となり、結果として第１、第２の特定表示結果が導出される機会を増やすことが可能となり、特別入賞の発生が許容されていることに対する遊技者の期待感を効果的に高めることができる。

尚、第１の操作タイミングと第２の操作タイミングとが重複せず、第１の操作タイミングと第３の操作タイミングとが重複しないものであれば、第２の操作タイミングと第３の操作タイミングとは重複するものであっても良いし、重複しないものであっても良い。

また、第１の操作タイミングで導出操作手段の操作を行う場合の遊技用価値の獲得期待値（所定付与入賞の発生を許容する旨が決定される確率×所定付与入賞の発生に伴い付与される遊技用価値の数）の方が、第２または第３の操作タイミングで導出操作手段の操作を行う場合の遊技用価値の獲得期待値（第１の特定付与入賞の発生を許容する旨が決定される確率×第１の特定付与入賞の発生に伴い付与される遊技用価値の数、または第２の特定付与入賞の発生を許容する旨が決定される確率×第２の特定付与入賞の発生に伴い付与される遊技用価値の数）よりも大きくなることが好ましく、このようにすることで一層積極的に所定付与入賞を発生させることが可能な操作タイミングでの操作、すなわち第１、第２の特定付与入賞を取りこぼす操作タイミングでの操作を遊技者に対して促すことが可能となる。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

本発明の手段２に記載のスロットマシンは、

各々が識別可能な複数種類の図柄を変動表示可能な複数の可変表示領域（左リール、中リール、右リールの表示領域）のそれぞれに表示結果を導出表示させることが可能な可変表示装置（リール２Ｌ、２Ｃ、２Ｒ）を備え、

遊技用価値（メダル）を用いて１ゲームに対して所定数の賭数を設定することによりゲームが開始可能となるとともに、前記複数の可変表示領域（左リール、中リール、右リールの表示領域）の全てに表示結果が導出表示されたことにより１ゲームが終了し、前記複数の可変表示領域（左リール、中リール、右リールの表示領域）に導出表示された表示結果の組み合わせに応じて入賞が発生可能とされたスロットマシン（スロットマシン１）であって、

少なくともいずれかの可変表示領域に表示結果が導出される前に、遊技者にとって有利

な特別遊技状態への移行を伴う特別入賞（特別役）、前記遊技用価値（メダル）の付与を伴う第１、２の所定付与入賞（実施例１のチェリー、スイカ）及び該第１、２の所定付与入賞よりも少ない数の遊技用価値（メダル）の付与を伴う第１、２の特定付与入賞（実施例１の１枚（１）、１枚（２））を含む複数種類の入賞について発生を許容するか否かを決定する事前決定手段（内部抽選）と、

前記事前決定手段により前記特別入賞（特別役）の発生を許容する旨が決定され、該特別入賞（特別役）が発生しなかったときに、当該特別入賞の発生を許容する旨の決定（特別役の当選フラグ）を次ゲーム以降に持ち越す持越手段と、

前記複数の可変表示領域（左リール、中リール、右リールの表示領域）の表示結果を導出させる際に操作されるそれぞれの導出操作手段（ストップスイッチ８Ｌ、８Ｃ、８Ｒ）と、

前記導出操作手段が（ストップスイッチ８Ｌ、８Ｃ、８Ｒ）操作されたときに、前記事前決定手段の決定結果（当選フラグ）に基づいて該導出操作手段（ストップスイッチ８Ｌ、８Ｃ、８Ｒ）に対応する可変表示領域（左リール、中リール、右リールの表示領域）に表示結果を導出させる制御を行う導出制御手段と、

を備え、

前記事前決定手段は、前記第１の特定付与入賞（１枚（１））の発生を許容する旨及び前記第２の特定付与入賞（１枚（２））の発生を許容する旨について前記特別入賞（特別役）の発生を許容する旨と同時に決定することが可能であり、かつ前記第１の特定付与入賞（１枚（１））の発生を許容する旨を前記特別入賞（特別役）の発生を許容する旨と同時に決定する割合よりも高い割合で前記第２の特定付与入賞（１枚（２））の発生を許容する旨を前記特別入賞（特別役）の発生を許容する旨と同時に決定し、

前記導出制御手段は、

前記第１の所定付与入賞（チェリー）の発生を許容する旨が決定されており、周期的に定められた複数の操作タイミング（領域番号１～２１の停止操作位置）のうち第１の操作タイミング（領域番号１～４、１１～１７、１９～２１）で特定の可変表示領域（左リール）に対応する導出操作手段（ストップスイッチ８Ｌ）が操作されたときに前記第１の所定付与入賞を構成する表示結果（「チェリー」が上段または下段のいずれかに停止する表示結果）を該特定の可変表示領域（左リール）に導出させる制御を行うとともに、前記複数の操作タイミング（領域番号１～２１の停止操作位置）のうち前記第１の操作タイミング以外の操作タイミング（領域番号５～１０、１８）で前記特定の可変表示領域（左リール）に対応する導出操作手段（ストップスイッチ８Ｌ）が操作されたときに前記第１の所定付与入賞を構成しない表示結果（「チェリー」が上段または下段のいずれにも停止しない表示結果）を該特定の可変表示領域（左リール）に導出させる制御を行う第１の所定付与入賞許容時導出制御手段と、

前記第２の所定付与入賞（スイカ）の発生を許容する旨が決定されており、前記複数の操作タイミング（領域番号１～２１の停止操作位置）のうち前記第１の操作タイミングの少なくとも一部が重複する重複操作タイミング（領域番号１１～１３）を含む第２の操作タイミング（領域番号７～１３）で前記特定の可変表示領域（左リール）に対応する導出操作手段（ストップスイッチ８Ｌ）が操作されたときに前記第２の所定付与入賞を構成する表示結果（「スイカ」が上段、中段または下段のいずれかに停止する表示結果）を該特定の可変表示領域（左リール）に導出させる制御を行うとともに、前記複数の操作タイミング（領域番号１～２１の停止操作位置）のうち前記第２の操作タイミング以外の操作タイミング（領域番号１～６、１４～２１）で前記特定の可変表示領域（左リール）に対応する導出操作手段（ストップスイッチ８Ｌ）が操作されたときに前記第２の所定付与入賞を構成しない表示結果（「スイカ」が上段、中段及び下段のいずれにも停止しない表示結果）を該特定の可変表示領域（左リール）に導出させる制御を行う第２の所定付与入賞許容時導出制御手段と、

前記第１の特定付与入賞（１枚（１））の発生を許容する旨、または前記第１の特定付与入賞（１枚（１））及び前記特別入賞（特別役）の発生を許容する旨が決定されており

、前記複数の操作タイミング（領域番号１～２１の停止操作位置）のうち前記重複操作タイミング（領域番号１１～１３）とは重複しない第３の操作タイミング（領域番号３～９）で前記特定の可変表示領域（左リール）に対応する導出操作手段（ストップスイッチ８Ｌ）が操作されたときに前記第１の特定付与入賞を構成する表示結果（「白７」が上段、中段または下段のいずれかに停止する表示結果）を該特定の可変表示領域（左リール）に導出させる制御を行い、前記複数の操作タイミング（領域番号１～２１の停止操作位置）のうち前記第３の操作タイミング以外の操作タイミング（領域番号１、２、１０～２１）で前記特定の可変表示領域（左リール）に対応する導出操作手段（ストップスイッチ８Ｌ）が操作されたときに前記第１の特定付与入賞を構成しない表示結果（「白７」が上段、中段及び下段のいずれにも停止しない表示結果）を該特定の可変表示領域（左リール）に導出させる制御を行うとともに、前記重複操作タイミング（領域番号１１～１３）のうちの特定の操作タイミング（領域番号１０、１１）で前記特定の可変表示領域（左リール）に対応する導出操作手段（ストップスイッチ８Ｌ）が操作されたときに第１の特定表示結果（領域番号７・８・９の表示結果）を該特定の可変表示領域（左リール）に導出させる制御を行う第１の特定付与入賞許容時導出制御手段と、

前記第２の特定付与入賞（１枚（２））の発生を許容する旨、または前記第２の特定付与入賞（１枚（２））及び前記特別入賞（特別役）の発生を許容する旨が決定されており、前記複数の操作タイミング（領域番号１～２１の停止操作位置）のうち前記重複操作タイミング（領域番号１１～１３）とは重複しない第４の操作タイミング（領域番号１５～２１）で前記特定の可変表示領域（左リール）に対応する導出操作手段（ストップスイッチ８Ｌ）が操作されたときに前記第２の特定付与入賞を構成する表示結果（「赤７」が上段、中段または下段のいずれかに停止する表示結果）を該特定の可変表示領域（左リール）に導出させる制御を行い、前記複数の操作タイミング（領域番号１～２１の停止操作位置）のうち前記第４の操作タイミング以外の操作タイミング（領域番号１～１４）で前記特定の可変表示領域（左リール）に対応する導出操作手段（ストップスイッチ８Ｌ）が操作されたときに前記第２の特定付与入賞を構成しない表示結果（「赤７」が上段、中段及び下段のいずれにも停止しない表示結果）を該特定の可変表示領域（左リール）に導出させる制御を行うとともに、前記重複操作タイミング（領域番号１１～１３）のうちの前記特定の操作タイミング（領域番号１０、１１）で前記特定の可変表示領域（左リール）に対応する導出操作手段（ストップスイッチ８Ｌ）が操作されたときに前記第１の特定表示結果（領域番号７・８・９の表示結果）とは異なる第２の特定表示結果（領域番号６・７・８、５・６・７）を該特定の可変表示領域（左リール）に導出させる制御を行う第２の特定付与入賞許容時導出制御手段と、

いずれの入賞の発生も許容しない旨の決定がなされているときに、前記特定の可変表示領域（左リール）に対応する導出操作手段（ストップスイッチ８Ｌ）の操作手順に関わらず前記第１及び第２の特定表示結果（領域番号７・８・９及び領域番号６・７・８、５・６・７）以外の表示結果を該特定の可変表示領域（左リール）に導出させる制御を行う非許容時導出制御手段と、

を含む、

ことを特徴としている。

この特徴によれば、特別入賞の発生を許容する旨と同時に決定される可能性のある第１または第２の特定付与入賞の発生を許容する旨の決定がなされ、かつ第１または第２の特定付与入賞を発生させることができなかつたときに、事前決定手段によりいずれの入賞の発生も許容されていないときには導出されることのない第１の特定表示結果または第２の特定表示結果を導出させることが可能となるので、これら第１または第２の特定表示結果が導出されることにより、特別入賞の発生が許容されていることに対する遊技者の期待感を高めることができる。

また、事前決定手段によりいずれの入賞の発生も許容されていないとき、すなわち通常時の大半を占める状態では、第１または第２の特定表示結果が導出されることがなく、事前決定手段により第１または第２の特定付与入賞の発生を許容する旨の決定がなされるこ

とにより、第 1 または第 2 の特定表示結果を導出させることが可能となるので、遊技者の技量などの影響を受けることなく、適度な割合で特定の表示結果を導出させることが可能となる。

また、特定の操作タイミングで特定の可変表示領域に対応する導出操作手段を操作して、該特定の可変表示領域に第 2 の特定表示結果が導出されたときに、第 1 の特定表示結果が導出されたときよりも特別入賞の発生が許容されている可能性が高まるため、常に同じ操作タイミングで導出操作手段の操作を行いつつ遊技を行っている場合でも、その際に導出された表示結果によって特別入賞の発生が許容されていることに対する遊技者の期待感に変化を持たせることができる。

また、第 1 の所定付与入賞及び第 2 の所定付与入賞をとともに発生させることが可能な操作タイミングと、第 1 の特定付与入賞を発生させることが可能な操作タイミング及び第 2 の特定付与入賞を発生させることが可能な操作タイミングと、が重複せず、第 1 の所定付与入賞及び第 2 の所定付与入賞と第 1 の特定付与入賞または第 2 の特定付与入賞とを同時に狙って導出操作手段の操作を行うことができないいうに、第 1、2 の所定付与入賞が発生した際に、第 1、第 2 の特定付与入賞が発生したときよりも多くの数の遊技用価値が付与されるので、積極的に第 1 の所定付与入賞及び第 2 の所定付与入賞をとともに発生させることが可能な操作タイミングでの操作、すなわち第 1、第 2 の特定付与入賞を取りこぼす操作タイミングでの操作を遊技者に対して促すことが可能となり、結果として第 1、第 2 の特定表示結果が導出される機会を増やすことが可能となり、特別入賞の発生が許容されていることに対する遊技者の期待感を効果的に高めることができる。

尚、重複操作タイミングと第 3 の操作タイミングとが重複せず、重複操作タイミングと第 4 の操作タイミングとが重複しないものであれば、第 3 の操作タイミングと第 4 の操作タイミングとは重複するものであっても良いし、重複しないものであっても良い。

また、第 1 の操作タイミングと第 3 の操作タイミングまたは第 4 の操作タイミングとは重複するものであっても良いし、重複しないものであっても良い。同様に、第 2 の操作タイミングと第 3 の操作タイミングまたは第 4 の操作タイミングとは重複するものであっても良いし、重複しないものであっても良い。

また、重複操作タイミングで導出操作手段の操作を行う場合の遊技用価値の獲得期待値（第 1 の所定付与入賞の発生を許容する旨が決定される確率 × 第 1 の所定付与入賞の発生に伴い付与される遊技用価値の数 + 第 2 の所定付与入賞の発生を許容する旨が決定される確率 × 第 2 の所定付与入賞の発生に伴い付与される遊技用価値の数）の方が、第 2 または第 3 の操作タイミングで導出操作手段の操作を行う場合の遊技用価値の獲得期待値（第 1 の特定付与入賞の発生を許容する旨が決定される確率 × 第 1 の特定付与入賞の発生に伴い付与される遊技用価値の数、または第 2 の特定付与入賞の発生を許容する旨が決定される確率 × 第 2 の特定付与入賞の発生に伴い付与される遊技用価値の数）よりも大きくなることが好ましく、このようにすることで一層積極的に第 1 の所定付与入賞及び第 2 の所定付与入賞をとともに発生させることが可能な操作タイミングでの操作、すなわち第 1、第 2 の特定付与入賞を取りこぼす操作タイミングでの操作を遊技者に対して促すことが可能となる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

尚、手段 1、2 において所定数の賭数とは、少なくとも 1 以上の賭数であって、2 以上の賭数が設定されることや最大賭数が設定されることでゲームが開始可能となるようにしても良い。また、複数の遊技状態に応じて定められた賭数が設定されることでゲームが開始可能となるようにしても良い。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明の手段 3 に記載のスロットマシンは、手段 1 または 2 に記載のスロットマシンであって、

前記導出制御手段は、前記特別入賞（特別役）の発生を許容する旨が単独で決定されており、前記複数の操作タイミング（領域番号 1 ～ 21 の停止操作位置）のうち前記特定の操作タイミング（実施例 2：領域番号 15、16、実施例 1：領域番号 10、11）で前記特定の可変表示領域（左リール）に対応する導出操作手段（ストップスイッチ 8L）が操作されたときに前記第 1 の特定表示結果（実施例 2：領域番号 11・12・13、実施例 1：領域番号 7・8・9）または前記第 2 の特定表示結果（実施例 2：領域番号 10・11・12、実施例 1：領域番号 6・7・8、5・6・7）を該特定の可変表示領域（左リール）に導出させる制御を行う特別入賞許容時導出制御手段を含む、

ことを特徴としている。

この特徴によれば、特別入賞の発生を許容する旨と同時に決定される可能性のある第 1 または第 2 の特定付与入賞の発生を許容する旨の決定がなされ、かつ第 1 または第 2 の特定付与入賞を発生させることができなかつたときのみならず、特別入賞の発生を許容する旨が単独で決定されている場合にも、事前決定手段によりいずれの入賞の発生も許容されていないときには導出されることのない第 1 の特定表示結果または第 2 の特定表示結果を導出させることが可能となるので、これら第 1 または第 2 の特定表示結果が導出されることにより、特別入賞の発生が許容されていることに対する遊技者の期待感を一層高めることができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明の手段 4 に記載のスロットマシンは、手段 1 または 3 に記載のスロットマシンであって、

前記所定付与入賞許容時導出制御手段は、前記所定付与入賞（実施例 2 のスイカ）の発生を許容する旨が決定されており、前記複数の操作タイミング（領域番号 1 ～ 21 の停止操作位置）のうち前記特定の操作タイミング（実施例 2：領域番号 15、16）で前記特定の可変表示領域（左リール）に対応する導出操作手段（ストップスイッチ 8L）が操作されたときに、前記所定付与入賞（スイカ）を構成する表示結果として前記第 1 の特定表示結果（実施例 2：領域番号 11・12・13）または前記第 2 の特定表示結果（実施例 2：領域番号 10・11・12）を該特定の可変表示領域（左リール）に導出させる制御を行う、

ことを特徴としている。

この特徴によれば、特別入賞の発生を許容する旨と同時に決定される可能性のある第 1 または第 2 の特定付与入賞の発生を許容する旨の決定がなされ、かつ第 1 または第 2 の特定付与入賞を発生させることができなかつたときのみならず、所定付与入賞の発生を許容する旨が決定されている場合にも、事前決定手段によりいずれの入賞の発生も許容されていないときには導出されることのない第 1 の特定表示結果または第 2 の特定表示結果を導出させることが可能となるので、これら第 1 の特定表示結果または第 2 の特定表示結果が導出される機会を増やすことが可能となり、特別入賞の発生が許容されていることに対する遊技者の期待感を持続させることが可能となる。また、特定の可変表示領域に第 1 または第 2 の特定表示結果が導出された時点では、それが所定付与入賞の発生を許容する旨が

決定されていることによるものなのか、或いは特別入賞の発生を許容する旨と同時に決定される可能性のある第1または第2の特定付与入賞の発生を許容する旨の決定がなされていることによるものなのか、を判別できないため、最終的に全ての可変表示領域に表示結果が導出されるまで遊技者の期待感を効果的に持続させることができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、本発明の手段4に記載のスロットマシンは、手段2または3に記載のスロットマシンであって、

前記第1の所定付与入賞許容時導出制御手段は、前記第1の所定付与入賞（チェリー（実施例1の変形例）の発生を許容する旨が決定されており、前記複数の操作タイミング（領域番号1～21の停止操作位置）のうち前記特定の操作タイミングで前記特定の可変表示領域（左リール）に対応する導出操作手段（ストップスイッチ8L）が操作されたときに、前記第1の所定付与入賞（チェリー）を構成する表示結果として前記第1の特定表示結果または前記第2の特定表示結果を該特定の可変表示領域に導出させる制御を行うこと及び/または、

前記第2の所定付与入賞許容時導出制御手段は、前記第2の所定付与入賞（実施例1のスィカ）の発生を許容する旨が決定されており、前記複数の操作タイミング（領域番号1～21の停止操作位置）のうち前記特定の操作タイミング（実施例1：領域番号10、11）で前記特定の可変表示領域（左リール）に対応する導出操作手段（ストップスイッチ8L）が操作されたときに、前記第2の所定付与入賞（スィカ）を構成する表示結果として前記第1の特定表示結果（実施例1：領域番号7・8・9）または前記第2の特定表示結果（実施例1：領域番号6・7・8、5・6・7）を該特定の可変表示領域（左リール）に導出させる制御を行うこと

を特徴としている。

この特徴によれば、特別入賞の発生を許容する旨と同時に決定される可能性のある第1または第2の特定付与入賞の発生を許容する旨の決定がなされ、かつ第1または第2の特定付与入賞を発生させることができなかつたときのみならず、第1の所定付与入賞の発生を許容する旨が決定されている場合や第2の所定付与入賞の発生を許容する旨が決定されている場合にも、事前決定手段によりいずれの入賞の発生も許容されていないときには導出されることのない第1の特定表示結果または第2の特定表示結果を導出させることが可能となるので、これら第1の特定表示結果または第2の特定表示結果が導出される機会を増やすことが可能となり、特別入賞の発生が許容されていることに対する遊技者の期待感を持続させることが可能となる。また、特定の可変表示領域に第1または第2の特定表示結果が導出された時点では、それが第1の所定付与入賞や第2の所定付与入賞の発生を許容する旨が決定されていることによるものなのか、或いは特別入賞の発生を許容する旨と同時に決定される可能性のある第1または第2の特定付与入賞の発生を許容する旨の決定がなされていることによるものなのか、を判別できないため、最終的に全ての可変表示領域に表示結果が導出されるまで遊技者の期待感を効果的に持続させることができる。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明の手段5に記載のスロットマシンは、手段1～4のいずれかに記載のスロットマシンであって、

前記第 1 の特定付与入賞（1 枚（1））及び前記第 2 の特定付与入賞（1 枚（2））は、ともに 1 ゲームに対して設定可能な最大賭数を設定するために必要な数（3）以下の前記遊技用価値（1 枚）の付与を伴う付与入賞である、

ことを特徴としている。

この特徴によれば、第 1、2 の特定付与入賞は、1 ゲームに対して設定可能な最大賭数を設定するために必要な数以下の遊技用価値の付与を伴う入賞であるため、事前決定手段により第 1、2 の特定付与入賞の発生が許容されているときにおいて該第 1、2 の特定付与入賞を発生させることができなくても、遊技者が大きな不利益を被ることがないばかりか、第 1、2 の特定付与入賞の発生確率がスロットマシンによる遊技用価値の付与率に大きな影響が及ぶことがないので、例えば、第 1、2 の特定付与入賞の発生が許容される確率を高めて第 1、2 の特定表示結果の導出しうる機会を増加させることも可能となり、特別入賞の発生に対する遊技者の期待感を効果的に持続させることができる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明の手段 6 に記載のスロットマシンは、手段 1 ～ 5 のいずれかに記載のスロットマシンであって、

前記事前決定手段は、前記特別遊技状態（ビッグボーナス）に制御されている状態で、該特別遊技状態（ビッグボーナス）において前記遊技用価値の付与を伴う付与入賞（小役）の発生時に付与されうる最大付与数（12 枚）未満の遊技用価値の付与を伴う非最大付与入賞（ベル以外の小役）の発生を許容する旨を決定するときに、前記最大付与数（12 枚）の遊技用価値の付与を伴う最大付与入賞（ベル）の発生を許容する旨を同時に決定し、

前記導出制御手段は、前記事前決定手段により前記非最大付与入賞（ベル以外の小役）の発生を許容する旨及び前記最大付与入賞（ベル）の発生を許容する旨が同時に決定されており、いずれかの可変表示領域に対応する導出操作手段（ストップスイッチ 8 L、8 C、8 R）が操作されたときに、前記最大付与入賞を構成する表示結果（「ベル」がいずれかの入賞ラインに揃う表示結果）を前記非最大付与入賞を構成する表示結果（ベル以外の小役の構成図柄がいずれかの入賞ラインに揃う表示結果）よりも優先して該操作された導出操作手段に対応する可変表示領域に導出させる制御を行う優先導出制御手段を含む、

ことを特徴としている。

この特徴によれば、特別遊技状態に制御されているときに最大付与入賞よりも付与される遊技用価値の数が少ない非最大付与入賞の発生を許容する旨が決定されるときには、同時に最大付与入賞の発生を許容する旨も決定されるうえに、最大付与入賞を構成する表示結果が非最大付与入賞を構成する表示結果よりも優先して可変表示領域に導出されるので、最大付与数の遊技用価値を得ることができ、付与される遊技用価値の数が最大付与数よりも少ない数になってしまうことを極力なくすることができるため、特別遊技状態において遊技者が獲得できる遊技用価値が減少してしまうことを防止できる。

尚、該特別遊技状態において前記遊技用価値の付与を伴う付与入賞の発生時に付与されうる最大付与数とは、特別遊技状態で付与入賞が発生した際に付与される可能性のある遊技用価値の中で最も多い数の遊技用価値であり、例えば、特別遊技状態以外でそれよりも多くの遊技用価値が付与され得る場合に、その遊技用価値の数より少ない数の遊技用価値であっても良い。

また、前記最大付与数の遊技用価値の付与を伴う最大付与入賞とは、最大付与入賞が単独で発生することで最大付与数の遊技用価値が付与されるものに限らず、最大付与入賞が同時に複数発生すること（例えば、複数の入賞ラインに最大付与入賞の図柄が揃うことなど）で最大付与数の遊技用価値が付与されるものも含む。

また、前記所定付与入賞、前記第 1、2 の所定付与入賞は最大付与入賞であっても良いし、非最大付与入賞であっても良いが、いずれにしても第 1、2 の特定付与入賞は、非最大付与入賞となる。